

令和4年11月15日

保護者様（世帯配付）

名古屋市立豊臣小学校長
北 浦 賢

令和4年度前期「学校教育に関するアンケート」結果のお知らせ

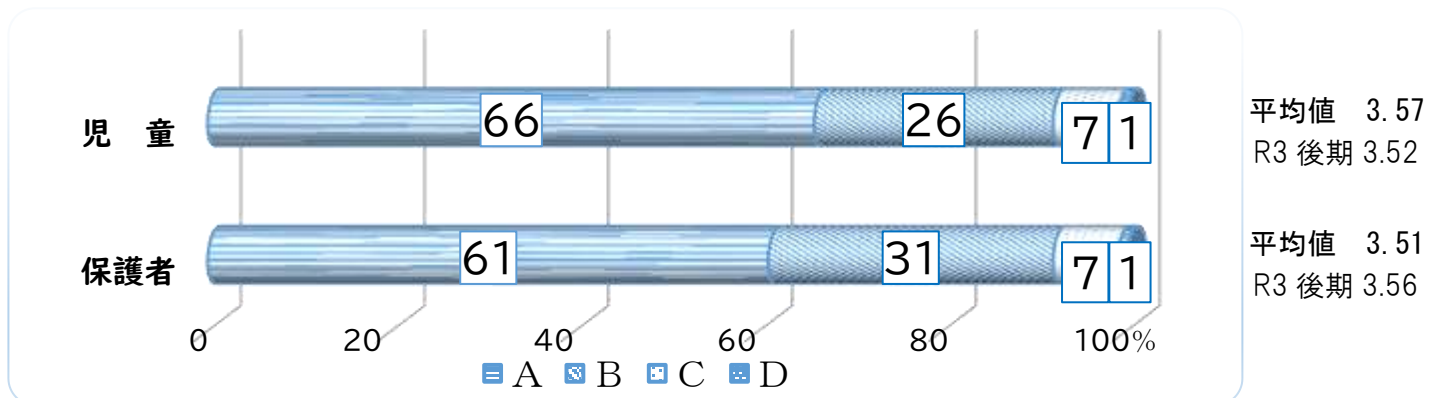
日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、9月に行いましたアンケートにご回答をいただき、ありがとうございました。児童のアンケート結果と合わせてお知らせいたします。これらの結果を生かし、学校教育・家庭教育について考えるきっかけになればと思います。よりよい豊臣小学校を目指して、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ 各項目について、「A=はい(4点)、B=どちらかといえばはい(3点)、C=どちらかといえはいいえ(2点)、D=いいえ(1点)」で評価していただきました。

※ ◇ は保護者の皆様からいただいたご意見・ご感想、◎ は学校の意向です。

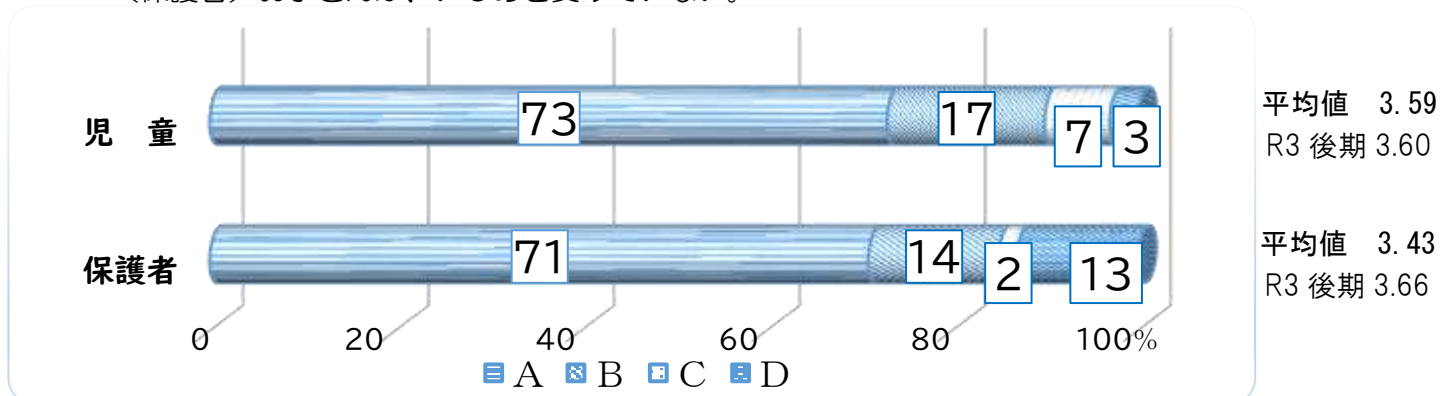
- 1 (児童) 私は、学校での生活が楽しい。
(保護者) お子さんは、学校が楽しいと言っている。



◇ 今のところ、いろいろあっても毎朝元気に一度も学校に行きたくないと言わず楽しみに通っているので、大変嬉しく思っています。

◎ 「はい」(A)、「どちらかといえば、はい」(B)と回答した児童の割合が令和3年度後期に比べて、増えています。学習面だけでなく、生活面においても、全ての児童が安心して楽しく過ごせるように全ての教職員に相談できる雰囲気や環境をつくっていくよう努めていきます。

- 2 (児童) 自分や友達がいじめられていない。
(保護者) お子さんが、いじめを受けていない。



◇ からかいや嫌がらせはあるようです。先生に伝えても、あまり対応してもらえなかったと本人は感じているようです。

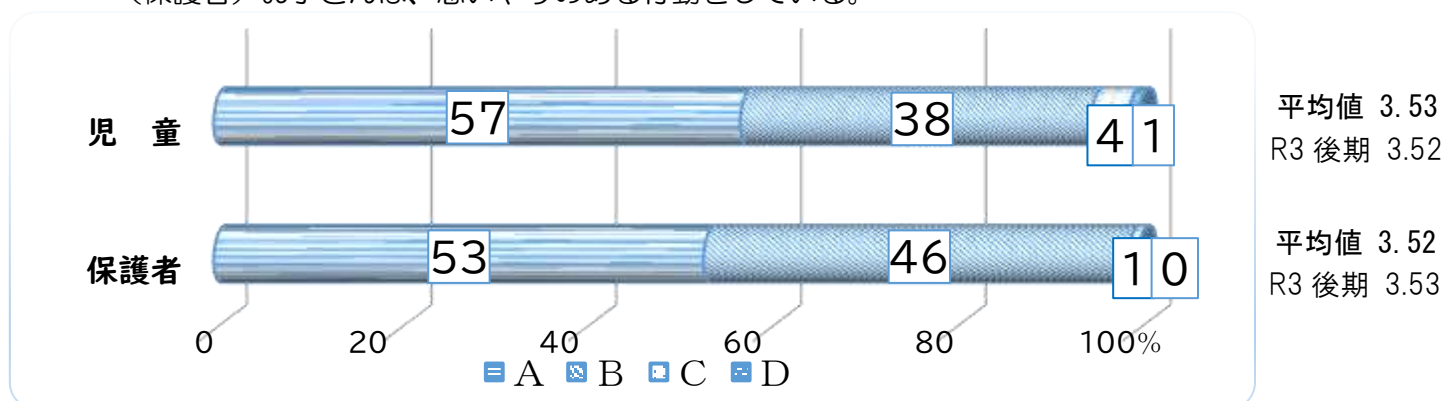
◇ 特定の子から無視をされたり、強い口調で話をされたりしているみたいです。

◎ 90%の児童・85%の保護者が「いじめがない」と答えていますが、そうでないという回答があることも気になっています。日頃から児童の様子をよく見て声を掛けていくとともに、児童の心の状態を把握するために、教育相談や学校生活アンケートを活用していきます。

また、特別の教科道徳や、人権教育の時間を利用して、人間関係の向上、いじめ防止に対する意識をより高めていきたいと思います。11月末からは、本校のINGキャンペーン週間です。「自分がされて嫌なことは、友達にしない」「友達のことを考え、優しく声を掛ける」など、みんなが楽しい学校生活を送るにはどうしたらよいか、考える時間をとっていきます。本校の「INGスローガン」である「ほわほわ言葉+思いやり=みんなの笑顔」を合言葉にしていじめのない学校を目指していきたいと思います。

③ (児童) 私は、思いやりのある、優しい行動をしようとしている。

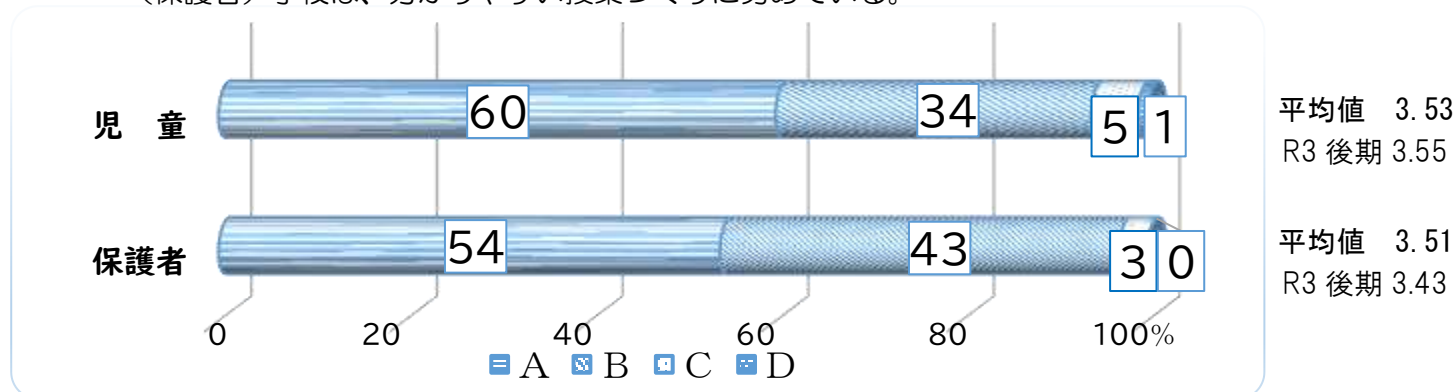
(保護者) お子さんは、思いやりのある行動をしている。



◎ 困っている下学年の児童に優しく声を掛ける高学年の姿や、友達に優しく声を掛けながら活動しようとする児童の姿をよく見掛けます。コロナ禍で、友達との関わり方が制限されている部分もありますが、今後は、各学級での友達同士の学び合いの時間を多く確保したり、今まで行うことができなかった異学年とのペア活動や縦割りグループでの活動を少しずつ再開させたりしていくことで、友達を思いやる心を育んでいけるよう努めていきます。

④ (児童) 学校の授業は分かりやすい。

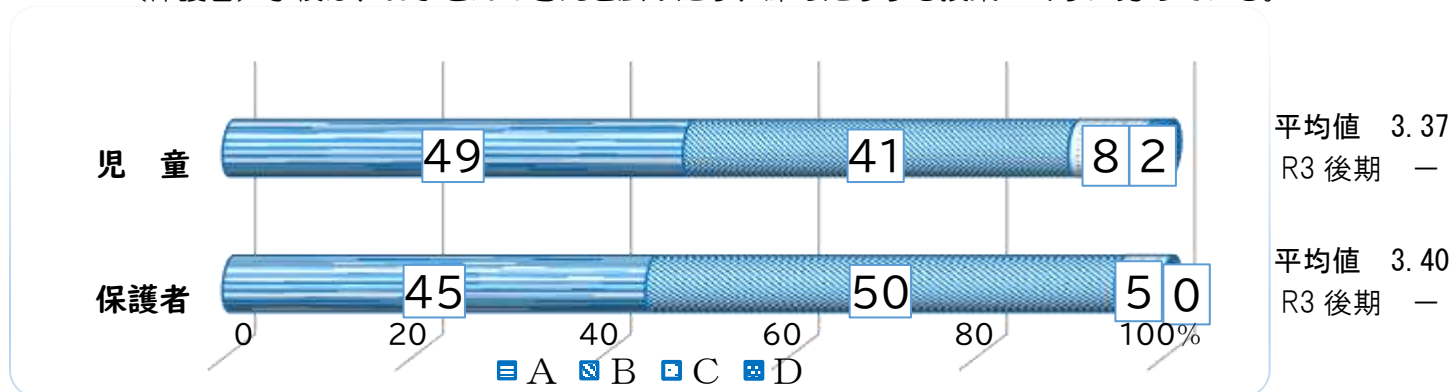
(保護者) 学校は、分かりやすい授業づくりに努めている。



◇ 授業参観時しか分かりません。また、仕事等で参観日に行けないこともあるので、授業の様子をネット上で数日間のみアーカイブで見られるようになるとよいと思います。

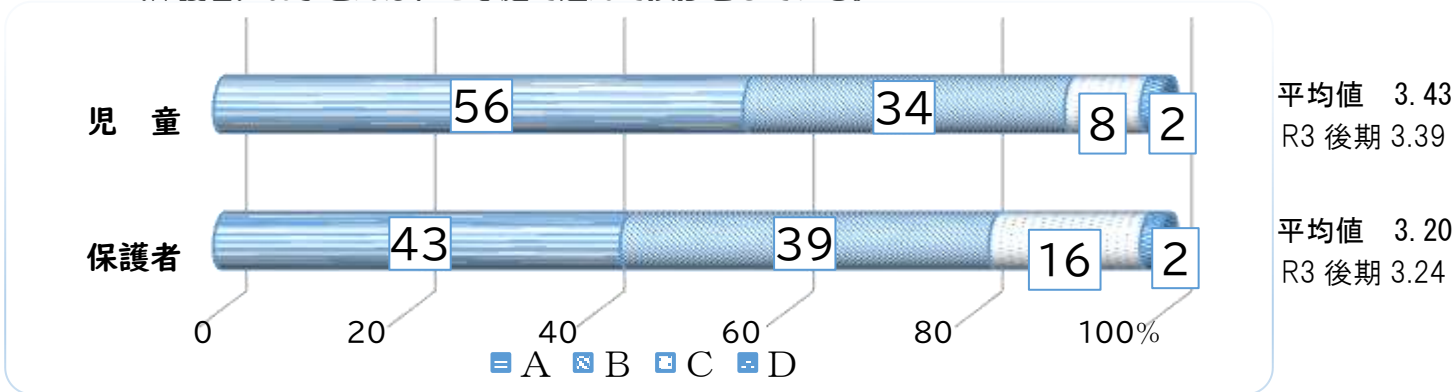
- ◎ タブレットでの学習が導入されたことで、授業の形式が変わりました。タブレットを効果的に活用して、児童の学習意欲を喚起する指導方法を工夫していきたいと思えます。
- ◎ ネット上での公開は、個人情報の観点から検討する必要があります。しかし、保護者の方にお子さんの学校での様子を見ていただくことは必要だと考えています。参観の機会をより多く設けることができるよう努めていきます。

5 (児童) 授業の中で、私は友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり、深めたりしている。
 (保護者) 学校は、お子さんの考えを広げたり、深めたりする授業づくりに努めている。



- ◎ 友達の考えを知ることで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるよう、努力点の授業研究を通して工夫をしています。特に、授業の中で対話的活動を多く取り入れることで、仲間の考えを知る時間を多くとるようにしています。また、タブレットを使った考えの共有も積極的に行い、友達の考えのよいところを見つける時間をつくっています。今後も、仲間と協働して学び合うことで、自分の考えを広げたり、深めたりできるような授業づくりに努めていきます。

6 (児童) 私は、先生・お家の人・友達へ進んで挨拶をしている。
 (保護者) お子さんは、ご家庭で進んで挨拶をしている。

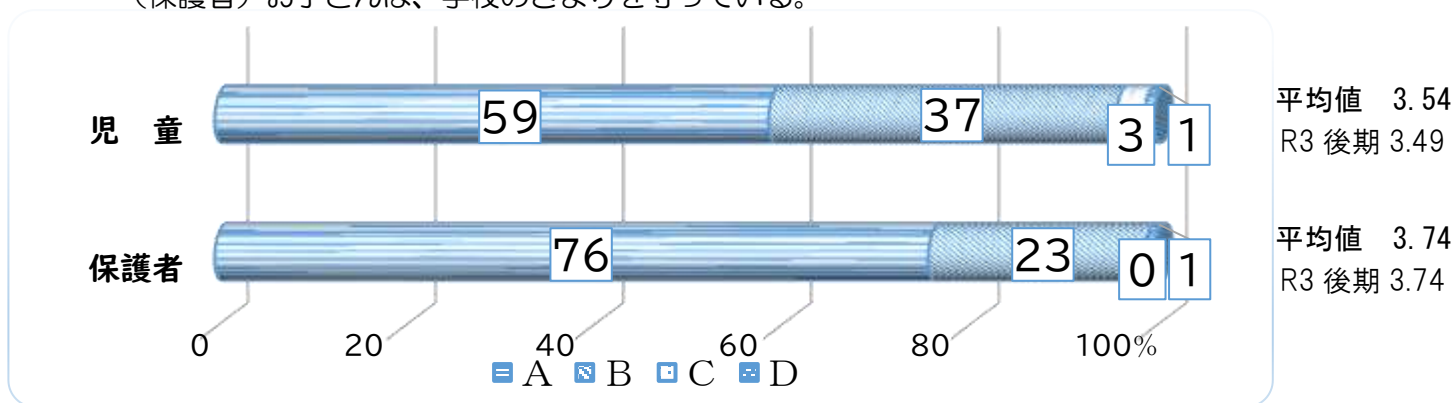


◇ 先駆け挨拶が始まってから、自分から近所の方にも進んで挨拶する姿が増えました。また、数年前に比べ、周りのお子さんからも進んで挨拶されることが増えました。

☆ 昨年に引き続き、ご家庭でも「先駆け挨拶」に取り組んでいただきありがとうございます。登下校時には、校門で「おはようございます」「さようなら」と目を見て元気に挨拶をする児童が多く、大変うれしく思います。今年度は、登下校時だけでなく、廊下ですれ違ったときに「こんにちは」と気持ちのよい挨拶をする児童も増えました。また、高学年の児童の姿を見て、低学年の児童も自然に挨拶ができるようになってきたと感じています。今後も、一人でも多くの児童が相手の目を見て、気持ちのよい挨拶ができるよう声掛けを続けていきたいと思えます。ご家庭でも継続して、「先駆け挨拶」へのお取り組みをお願いします。

7 (児 童) 私は、「豊臣のよい子の暮らし」を守っている。

(保護者) お子さんは、学校のきまりを守っている。



◇ 学校のきまりと言われますが、狭い地域の中では無理です。学区外に出るときは保護者と一緒と言われます。学校に必要な筆記用具を購入する店もない、公園は狭いところしかない、運動できるような場所もない、習い事をさせたくてもないと全て学区外になります。もう少し状況を見て判断してもらいたいです。

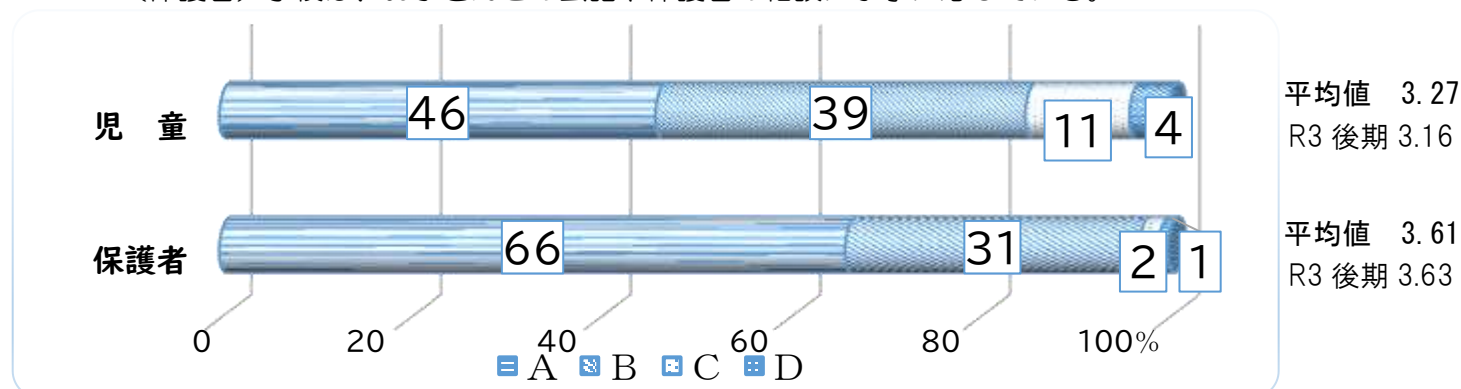
◇ まだ守れないことが多いです。また、守れないことが不安になり学校に行きたくない日があります。

◎ ご家庭でも「豊臣のよい子の暮らし」に合わせた取り組みをいただきありがとうございます。子どもたちが事故や事件、トラブルに巻き込まれることのないように、学校ではルールづくりを行っていますが、子どもや家庭の実情にあったルールになるよう、常に見直す必要があると考えています。学習用具の購入や習い事については、ご家庭でお子さんと相談をしながら、考えていただけたらと思います。

◎ 子どもたちは、「学校や社会にはなぜルールがあるのか」を小学校の生活の中で学んでいます。全児童が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、今後も児童の成長につながる指導や支援をしていきます。児童と教職員の対話を大切にしながら、児童同士の交流の機会を設け、児童が主体的に学校生活を送ることができるよう努めていきます。

8 (児 童) 私は、学校の先生と楽しく、何でも話せる。

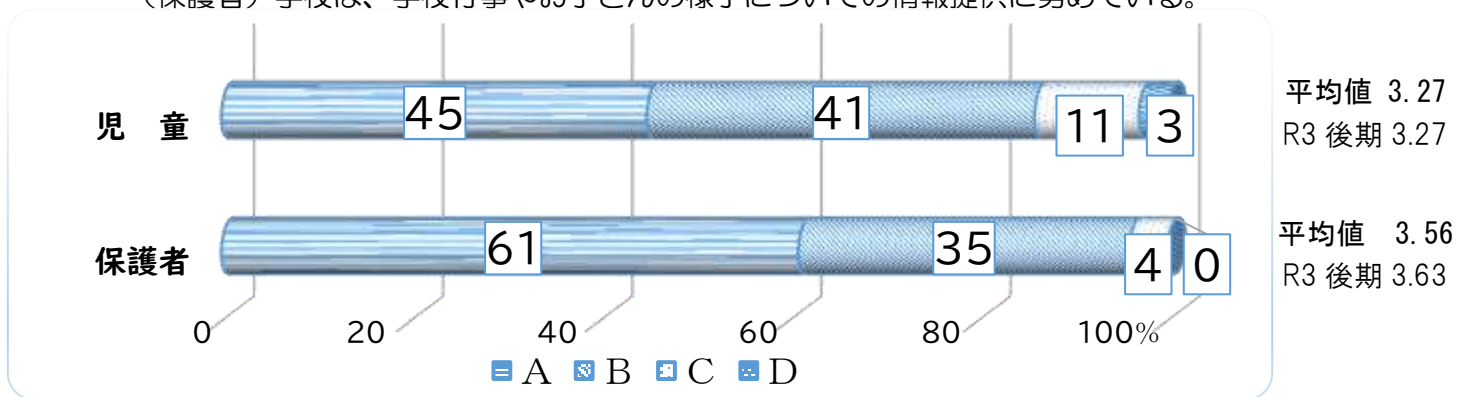
(保護者) 学校は、お子さんとの会話や保護者の相談に丁寧に応じている。



◎ タブレット端末に入っているアプリ「スクールライフノート」の「心の天気」を活用する等、児童が自分の思いをより担任に伝えやすいような工夫をしていきます。また、全教職員が、児童に積極的に話し掛け、関わりをもっていくことで、どの教職員とも気軽に話が出来よう、温かい雰囲気・人間関係づくりを進めていきたいと思います。

◎ 児童の指導にあたって、長所を見付け、褒めて、伸ばしていくことは、児童の自己肯定感を高める上でも大切なことです。児童が自分に自信をもって学校生活を送れるように努めていきます。また、保護者の皆様にも、日頃の生活の中でお子様の成長や頑張りについて伝えていくことで、ご家庭と連携していきたいと思います。

9 (児童) 私は、お家の人へ学校のこと・自分の思い・考えを何でも話せる。
 (保護者) 学校は、学校行事やお子さんの様子についての情報提供に努めている。

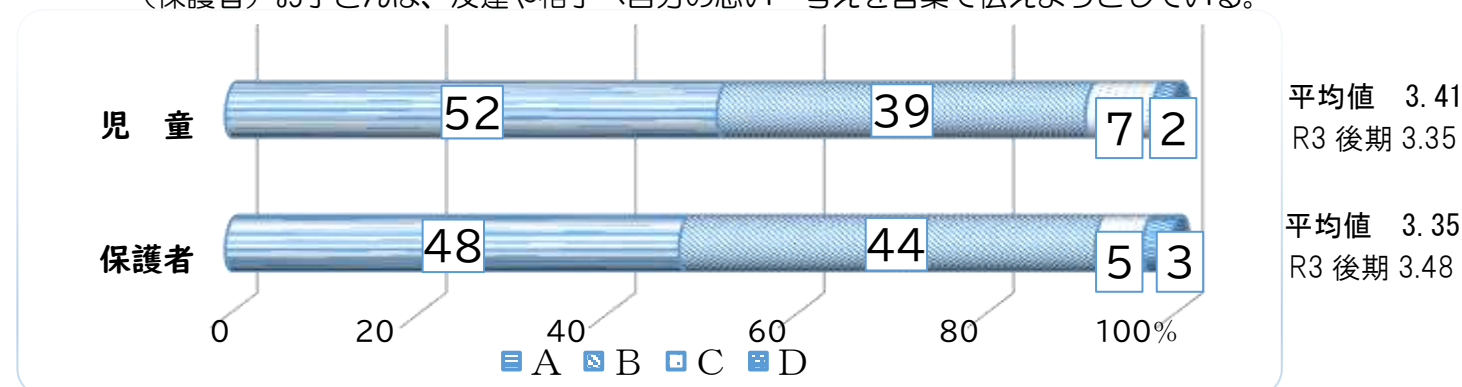


◇ 新学期の給食の開始が分からずこちらから聞きました。夏休み前か全校出校日などもう少し早めに知らせていただきたかったです。授業参観の時間も2・3・4限に行われ、番号順で振り分けられるとすることで一度帰宅してから2・4限に参観したので、もう少し保護者が効率よく動けるように配慮していただきたいです。

◎ 各月の行事予定について、特に長期休業がある際には、学校だよりで早めにお知らせできるよう努めていきます。なお、各学期の給食開始・終了日や弁当持参日を含め、大まかな予定は4月当初に配付している年間行事予定でお知らせしていますので、ご確認くださいませ。

◎ コロナ禍で人数や参観の仕方に多くの制限があり、保護者の方にはご理解・ご協力いただくことが多く、いつも感謝しています。多くの保護者の方がより負担のないように、学校行事に参加できるよう、開催方法など工夫をしていきたいと思っております。

10 (児童) 私は、友達や相手へ自分の思い・考えを言葉で伝えようとしている。
 (保護者) お子さんは、友達や相手へ自分の思い・考えを言葉で伝えようとしている。



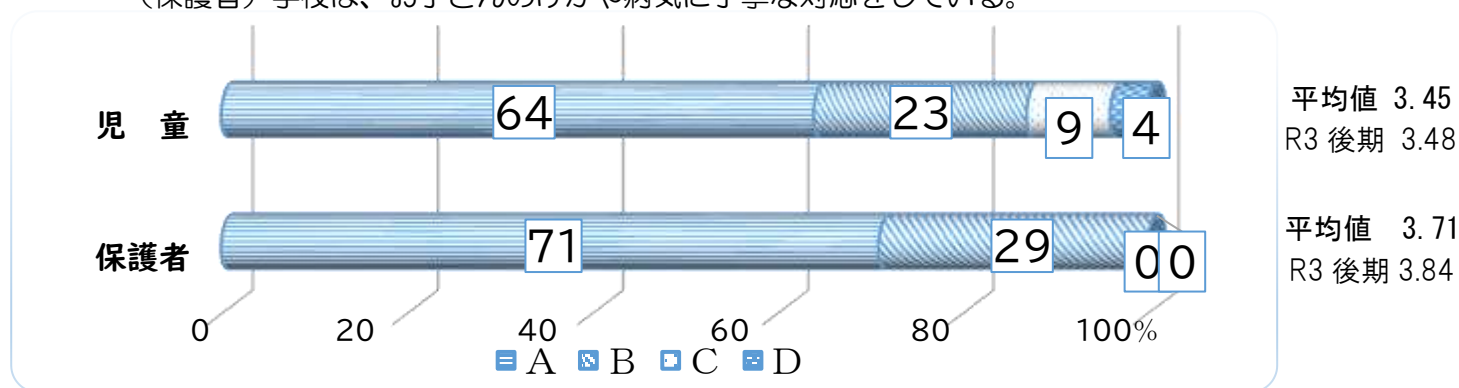
◇ まだ1年生ということもあり、なかなか自分の気持ちを言えないこともあるようです。先生やスクールカウンセラーさんに相談したところ、気配りを頂いて、後日、子どもから「先生がこんな話してくれたよ」と話があり、前より学校を楽しめるようになったようです。

◎ 今年度も、昨年度に引き続き、学校努力点での授業研究の中で、全校共通のハンドサインやタブレット端末内の学習支援ソフト「ロイロノート」を活用し、意見交流を行ってきました。自分の考えを学級全体に共有することで、様々な考えがあることを知り、自分の意見を深めることができると考えています。今後も、効果的にタブレットを活用し、自分の思いや考えを友達に伝えるとともに、意見交流を通して学習の理解を深められるような授業づくりに努めていきます。

◎ 学校には、担任はもちろん、教科担当の教員やスクールカウンセラーなど、子どもたちの話を聞くことのできる教職員がたくさんいます。子どもたちの思いを引き出していけるよう、学校全体で情報を共有しながら、子どもたちと関わっていききたいと思っております。

11 (児 童) 私は、けがや病気の時、保健室で安心して休める。

(保護者) 学校は、お子さんのけがや病気に丁寧な対応をしている。



◇ ちょっとした怪我などでも、保護者に連絡をくださるので、様子がよく分かりありがたいです。

◎ 学校では、けが（特に首より上のけが）に対して、慎重に対応しています。念のため受診が必要と判断したときには、在校時に保護者の方へ連絡することがあります。緊急連絡先が変更になったときは学校にすぐにお知らせいただき、いつでも連絡がとれるようにしていただきたいと思います。

その他

◇ 夏休みの宿題が多いと感じるようです。「夏の生活」は最低限取り組ませたいと思いますが、自由課題は取り組みたい児童だけ提出するようにしていただだけませんか。

◇ 平日は仕事をしている保護者も多く、土日に課題に向き合うと、出掛けたり、団らんの時間を削ったりすることにつながります。本当にやりたいことに取り組みめるよう、ご配慮をお願いします。

◇ 夏休みの宿題で、できたら丸つけをするようお便りにあり、できなかったためそのまま丸つけをせずに提出したところ受け取ってもらえませんでした。子どもは見てもらえなかったことにとっても残念な思いをしていました。

◎ お仕事等でお忙しい中、お子さんとの時間を取り、一緒に課題に取り組んでいただきありがとうございます。夏休みは、ご家庭で、家族と一緒に過ごす時間も多くなり、貴重な経験をする大切な時間になるかと思えます。夏休みの課題や評価の仕方については、来年度に向けて職員で検討し、学年間で共通理解を図っていききたいと思います。

様々なご意見やご感想をいただきありがとうございました。保護者の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、良かった点はさらに伸ばし、改善すべき点については可能な限り対応していきます。後期も、引き続き、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いします。